

cloudburst

ambient reverb

日本語ユーザーマニュアル



strymon®

もくじ

各部の名称と働き	3
フロントパネル・コントロール	3
リアパネルI/O & コントロール	5
モノ&ステレオI/Oケーブルの接続	5
パワーアップ・モード	8
Mono I/Oのバイパスモード	8
スピルオーバー・モード	9
ドライシグナル	10
EXP/MIDI ジャックの設定	11
外部コントロール	13
エクスプレッションペダルのセットアップ	13
フェイバリットスイッチの設定とコンペアモード	14
フリーズまたはインフィニティ・モードスイッチの設定	16
MultiSwitch Plus の設定	18
MultiSwitch Plus の使用	19
MultiSwitch Plusでプリセットを保存する	19
MIDI機能	20
MIDI を使用するためのcloudburst の設定	20
MIDI モードでプリセットを保存する	25
MIDI スペシフィケーション	26
MIDI プログラムチェンジ	26
MIDI CCs	27
ファクトリーリセット	28
主な特徴	30
スペシフィケーション	31
電源アダプター規格	31
Appendix 1:サンプルセッティング	32
Appendix 2:パワーアップモード クイックリファレンス	34
使用上のご注意	37
Strymon限定保証(譲渡不可)に関する規定	38

各部の名称と働き

フロントパネル・コントロール

LEDインジケーター

エフェクトがオンの場合、**レッド**に点灯します。
フットスイッチでエフェクトをオン/オフします。
パワーアップモード機能も表示します。
([8ページ](#)をご覧ください。)



DECAY/ディケイ

リバーブの減衰時間を1秒から50秒以上まで制御します。
低い設定はリバーブスペースのサイズを小さくします。

PRE-DELAY/プリディレイ

リバーブ信号が始まるまでの時間を設定します。
自然なリバーブを得るには、高めの**PRE-DELAY**と低めの
MIX設定を選びます。

FOOTSWITCH/フットスイッチ

エフェクトをオン/オフします。
エフェクトオンの時、**レッド**LEDが点灯します。

NOTE: フットスイッチを長押しして、エクスプレッションペダルのパラメーターを設定します。[13ページ](#)をご覧ください。
オプションで、外部フットスイッチで行う**FREEZE**または**INFINITE**モード機能も設定できます。
([16ページ](#)をご覧ください。)

ノブとスイッチ

フロントパネル・コントロール



ENSEMBLE/アンサンブル

入力信号を分析し、ストリングセクションを連想させる倍音豊かなサウンドを生成します。

Off：（左の位置）アンサンブル効果なし。

mp：（ミドルポジション、メゾピアノ、「ミディアムソフト」を意味します。）微妙な効果の中量アンサンブル。

forte：（右の位置、「強い」または「大きな」）最大量の豊かなサウンドスケープを生み出すアンサンブル効果。

MIX/ミックス

最小でフルドライからドライ信号なしのフルウェットまで、リバーブミックスをコントロールします。ノブの3時の位置で 50/50 のミックスが得られます。

（ドライシグナルの選択については、[10ページ](#)をご覧ください。）

TONE/トーン

リバーブの高域成分を調整します。低い設定では暗くて暖かく、高い設定では明るく鮮明なリバーブ音が得られます。

MOD/モッド

リバーブ信号に幅広い変調を加えます。最小設定ではモジュレーションはオフです。

リアパネル I/O & コントロール

I/O モードセレクター

Mono: (左の位置) ギターなどのモノラル入力信号で使用します。

出力はモノラル、デフォルトはトゥルーバイパスです。

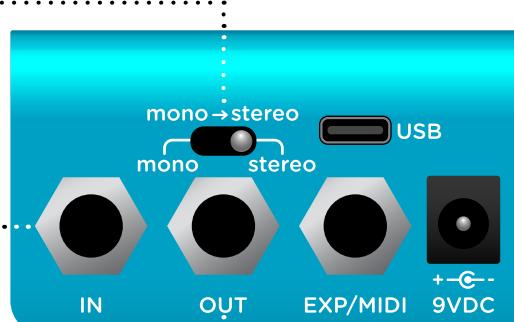
mono → stereo: (センター位置) モノラル入力信号で使用します。

出力はステレオ、バイパスモードはバッファードバイパスです。

Stereo: (右の位置) ステレオ入力信号で使用します。出力はステレオ、バイパスモードはバッファードバイパスです。

ステレオ I/O には、TRSアダプターまたはケーブルが必要です。

(次の例を参照してください。)

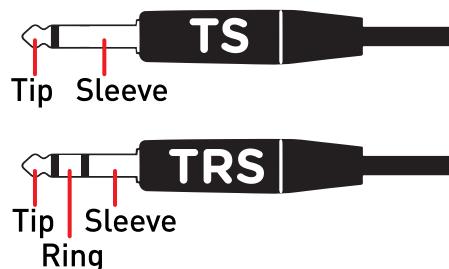


IN **OUT**
ハイインピーダンス、超低ノイズ、ディスクリートクラスA JFET TRSステレオプリアンプ。

ローインピーダンス TRSステレオ出力。

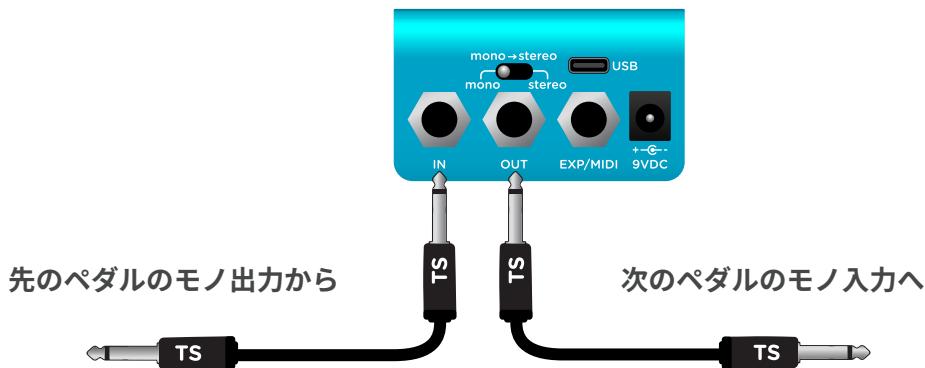
モノ&ステレオI/Oケーブルの接続

本機の**In & Out**ジャックは、TSまたはTRSタイプの1/4“フォーンケーブルでモノまたは、ステレオ接続します。

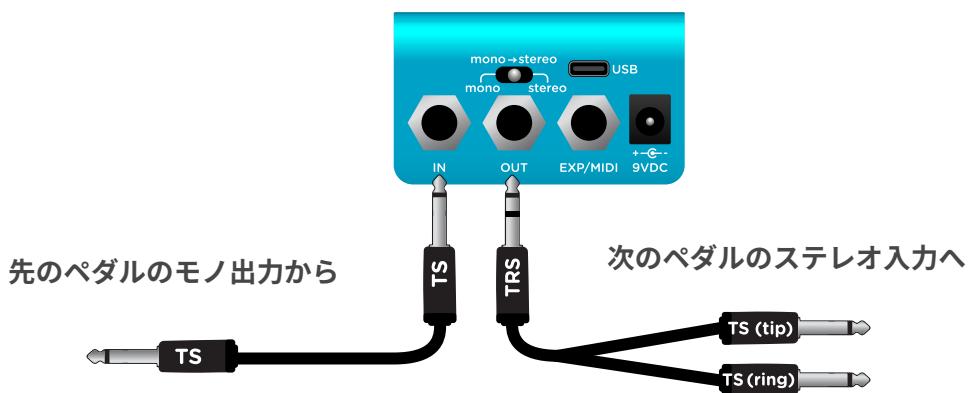


NOTE : TRSステレオ接続では、左信号は**Tip**、右信号は**Ring**を通過します。

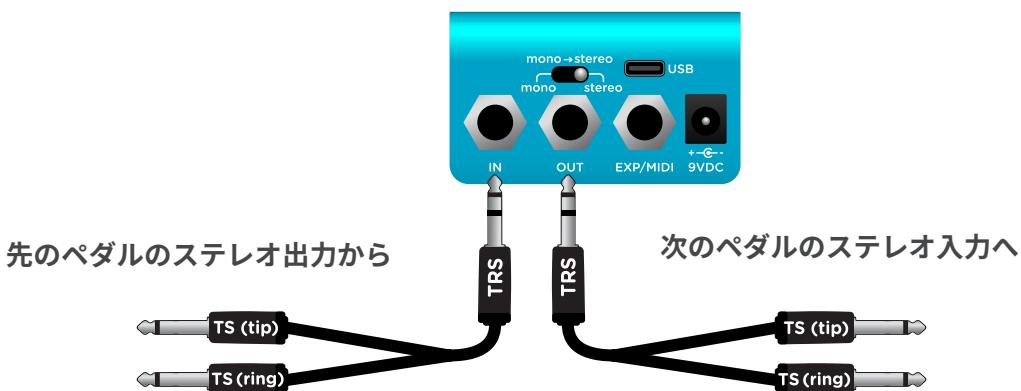
Mono In - Mono Out : cloudburstをモノ信号チェーンに接続するには、INとOUTの両方にTSケーブルを使用します。I/Oセレクタースイッチの設定はモノにします。



Mono In - Stereo Out : cloudburstにモノ信号を入力するにはTSを使用し、INに接続します。TRS + デュアルTS ケーブルをOUTに接続し、ステレオ信号をステレオペダルにルーティングします。I/Oの設定はセレクタースイッチでモノ→ステレオにします。



Stereo In - Stereo Out : cloudburstをステレオシグナルチェーンに接続するには、INとOUTの両方にTRS + デュアルTSケーブルを使用します。セレクタースイッチをステレオにしてI/Oを設定します。



NOTE : TRS - TRSケーブルを使用してペダルを接続することもできます。 (El CapistanのTRSステレオ入力に接続する場合など)

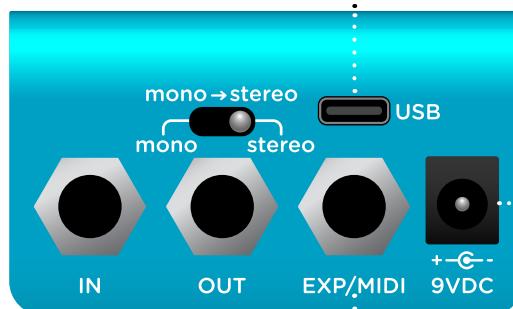
リアパネル I/O & コントロール

USB-C

MIDI I/Oとファームウェアの更新に使用するコンピューター用接続ジャックです。

9VDC/DC9V

以下の仕様アダプターのみを使用してください。
• 9VDC、センターマイナス
• 最小250mA
(アダプターは別売りです。)



EXP/MIDI

cloudburstの外部制御用の多機能通信ジャックです。

以下のいずれかで動作するように設定できます。 ([詳細は11ページの「EXP/MIDI ジャックを設定する。」をご覧ください。](#))

- エクスプレッションペダルモード ([13ページをご覧ください。](#))
- フェイバリットモード ([14ページをご覧ください。](#))
- フリーズモード ([16ページをご覧ください。](#))
- インフィニティ・モード ([16ページをご覧ください。](#))
- MIDIモード ([18ページ](#)の「MultiSwitch Plusの設定」または、[19ページ](#)の「MIDIモードでプリセットを保存する。」をご覧ください。)

パワーアップ・モード

Mono I/O のバイパスモード

背面の I/O モードセレクターをモノラルに設定すると、本機はデフォルトのトゥルーバイパスに設定されます。バイパスモードをバッファードに設定すると、ペダルチェーンとの長いケーブルでの接続でも高域特性は損なわれません。

NOTE : 背面の I/O モードセレクターをモノ→ステレオまたはステレオに設定すると、バイパスモードは自動的にバッファードバイパスに設定されます。

- 1 フットスイッチを 2 秒以上押し続けながら本機の電源を入れます。LED が点滅したらフットスイッチを離します。



- 2 ENSEMBLE (BYPASS MODE) スイッチを切り替えて、True または Buffered Bypass モードを決定します。スイッチを切り替えると、LED の色が変わり、現在のステータスが表示されます。
 - **True Bypass** (トゥルーバイパス) : スイッチを **off** (左) の位置に設定します。LED は **グリーン** に点灯 (デフォルト設定) します。
 - **Buffered Bypass** (バッファードバイパス) : スイッチを **forte** (右) の位置に設定します。LED は **レッド** に点灯します。
- 3 フットスイッチを押してバイパスモードを保存し、本機の使用を開始します。

NOTE : バイパスモードの設定は、電源を入れ直しても維持されます。

スピルオーバー・モード

本機をスピルオーバーモードに設定すると、現在選択されているプリセットをバイパス、または次にロードされるプリセットに（Multiswitch Plus または MIDI を使用して）切り替えると、エフェクト信号が（こぼれ）流れ込みます。

NOTE : バッファーアーキテクチャのため、現在のプリセットがアクティブである必要があります。プリセット間のスピルオーバーが機能する前に、少なくとも5秒間必要です。エフェクトをバイパスすると、すぐにスピルオーバーが動作します。

- 1 フットスイッチを2秒以上押し続けながら本機の電源を入れます。
LEDが点滅したらフットスイッチを離します。



- 2 MOD (**SPILLOVER MODE**) ノブを回して、スピルオーバーモードをオンまたはオフに設定します。ノブを回すと LED の色が変化し、現在のステータスを表示します。
 - スピルオーバーモード オフ：**アンバー**（デフォルト設定、最小位置）
 - スピルオーバーモード オン：**パープル**（最大位置）

NOTE : スピルオーバーがオンに設定されている場合、バイパスモードはバッファードバイパスに設定されます。

- 3 フットスイッチを押してスピルオーバーモード設定を保存し、本機の使用を開始します。

NOTE : スピルオーバーモードの設定はプリセット毎には保存されません。電源を入れ直しても設定は維持されます。

パワーアップ・モード

ドライシグナル

ドライ信号は、3つの異なる方法のいずれかで設定できます。

- **Digital Mode**（デジタルモード）では、変換されたドライ信号を使用します。MIX ノブが3時の位置を過ぎると、ドライ信号はエフェクト信号とのミックスから除かれます。
- **Analog Mode**（アナログモード）は、ドライ信号をアナログのまま保持します。
- **Kill Dry Mode**（キルドライモード）は、アナログドライパスの信号をミュートし、MIX ノブは「ウェット（エフェクト音）」の出力レベルのみをコントロールします。この設定はアンプのパラレルエフェクトループ内で本機を使用する場合、またはミキサーの Aux またはエフェクトセンドに接続しての使用に適しています。

- ① フットスイッチを2秒以上押し続けながら本機の電源を入れます。LED が点滅したらフットスイッチを離します。



- ② TONE (DRY SIGNAL) ノブを回して、3つのドライ信号オプションのいずれかを選択します。LED の色が変化して選択した設定電流を表示します。

- Digital Mode (デジタルモード) : グリーン (デフォルト、最小位置)
- Analog Mode (アナログモード) : レッド (12時の位置)
- Kill Dry Mode (キルドライモード) : ブルー (最大位置)

- ③ フットスイッチを押してドライシグナル設定を保存し、本機の使用を開始します。

パワーアップ・モード

EXP/MIDI ジャックの設定

- ① フットスイッチを 2 秒以上押し続けながら本機の電源を入れます。LED が点滅したらフットスイッチを離します。



- ② MIX (EXP/MIDI JACK) ノブを回して、背面のパネルの EXP/MIDI ジャックの機能を選択します。このノブを回すと、現在の設定状態が LED の色で表示されます。

- **Expression Pedal Mode (エクスプレッションペダルモード)** : グリーン (デフォルト設定、最小位置) TRS エクスプレッションペダルにより、どのノブも連続的なコントロールが可能です。(詳細は [13 ページ](#)をご覧ください。)
- **Favorite Mode (フェイバリットモード)** : アンバー (11 時の位置) - Strymon MiniSwitch 等を使用して、フェイバリット設定を呼び出すことができます。(詳細は [14 ページ](#)をご覧ください。)
- **Freeze Mode (フリーズ モード)** : レッド (12 時の位置) - Strymon MiniSwitch 等を使用して、現在入力された信号を無限にホールド再生します。新たに入力されたノートは、リバーブには追加されずに再生されます。(詳細は [16 ページ](#)をご覧ください。)
- **Infinite Mode (無限モード)** : パープル (2 時の位置) - Strymon MiniSwitch 等を使用して、現在入力された信号を無限にホールド再生します。新たに入力されたノートは、リバーブに追加されます。(詳細は [16 ページ](#)をご覧ください。)

EXP/MIDI ジャックの設定（続き）

- **MIDI Mode (MIDI モード) :** ブルー - Strymon MultiSwitch Plus を使用して 3 つのプリセットが選択できます。Strymon Conduit または MIDI EXP ケーブル経由で送られた MIDI メッセージ（フル機能）に反応します。最大 300 プリセットにも MIDI でアクセス可能です。（「MultiSwitch Plus の設定」[18 ページ](#)、または [25 ページ](#)の「MIDI モードでプリセットを保存する」をご覧ください。）



- ③ フットスイッチを踏んで EXP/MIDI ジャックモードを保存し、本機の使用を開始します。

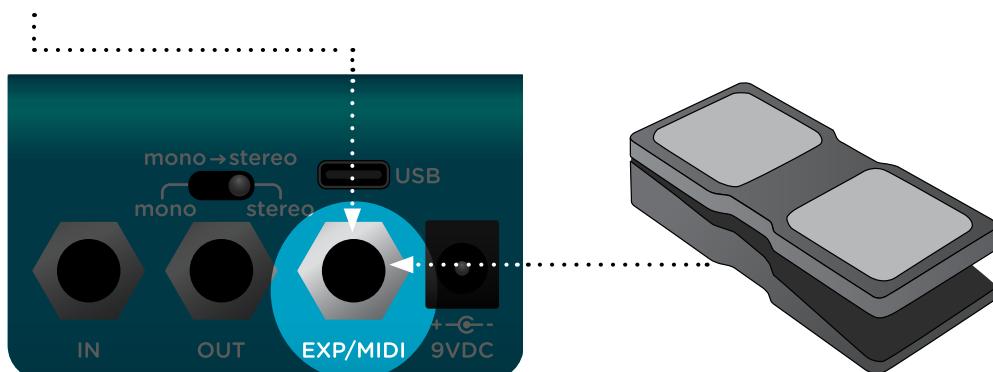
NOTE : EXP/MIDI ジャックの設定はプリセット毎には保存されません。電源を入れ直しても設定は維持されます。

外部コントロール

エクスプレッションペダルのセットアップ

TRS エクスプレッションペダルを使用して、本機のノブをリモートコントロールできます。デフォルト設定では、エクスプレッションペダルで MIX ノブがコントロールできるように設定されています。

- ① EXP/MIDI ジャックを Expression Mode に設定します。(設定の手順は [11 ページ](#)をご覧ください。)
- ② エクスプレッションペダルを本機の EXP/MIDI ジャックに接続します。



- ③ LED がグリーンに点滅するまで、フットスイッチを 2 秒以上長押しします。
- ④ エクスプレッションペダルをヒールの位置まで動かします。グリーン LED の点滅が止まり、点灯したままになります。
- ⑤ コントロールしたいノブ（複数可）のヒールポジションでの設定を決めます。
- ⑥ エクスプレッションペダルをトウの位置に動かします。LED がレッドに変わります。
- ⑦ コントロールしたいノブ（複数可）のトウポジションでの設定を決めます。
- ⑧ フットスイッチを押してから離し、セットアップの保存が終了します。

NOTE : エクスプレッションペダル設定の割り当ては、フェイバリット & MIDI プリセットごとに保存されます。

NOTE : 本機がMIDI EXPRESSIONおよびEXP/MIDIに応答するように設定されている場合、(ジャックが MIDIモードに設定されている)、MIDI CC#100を「0」(ヒール)、「127」(トウ)で本機へ送信できます。

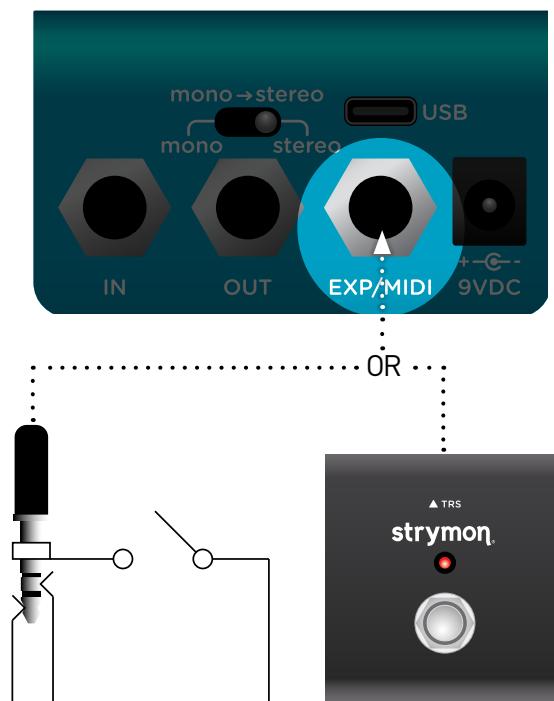
外部コントロール

フェイバリットスイッチの設定とコンペアモード

フェイバリット設定を保存＆呼び出すために、MiniSwitchまたはその他の外部ラッチ式フットスイッチをTRSケーブルで接続します。

NOTE : strymon MiniSwitchのインターナル・ジャンパーをファクトリー・デフォルトの **FAV/BOOST** モードにし使用します。この設定でのMiniSwitchの使用時は、**FAV/BOOST** モードに戻します。 ([16ページ](#)をご覧ください。)

- ① EXP/MIDI ジャックをフェイバリット モードに設定します。 (詳細は11ページをご覧ください。)
- ② MiniSwitch (または外部ラッチ型スイッチ) をTRSケーブルでEXP/MIDIジャックに接続します。



- ③ 好みのサウンドをダイヤルインします。
- ④ サウンドを新しいフェイバリット設定として保存するには、LEDが**グリーン**に点滅するまで少なくとも2秒間フットスイッチを押します。次に、フェイバリット設定を保存するためLEDが**ブルー**に点灯するまでフットスイッチを押し続けます。外部フットスイッチを踏んで、現設定とフェイバリット設定を切り替えます。

外部コントロール

フェイバリットスイッチセットアップ&コンペアモード（続き）

コンペアモード

フェイバリットまたはMIDIプリセットが呼び出された状態で、ノブまたはスイッチと現在のノブまたはトグル位置が保存された設定と一致すると、LEDが**グリーン**に点滅します。

NOTE: パワーアップモードの設定は、グローバルに適用され、プリセット毎には保存されません。

NOTE : MIDIを使用する場合、プリセットの保存は別の方法で機能します。 ([20ページ](#)をご覧ください。)

NOTE: フェイバリット設定は、MIDIプログラムチェンジの「0」に保存されます。

外部コントロール

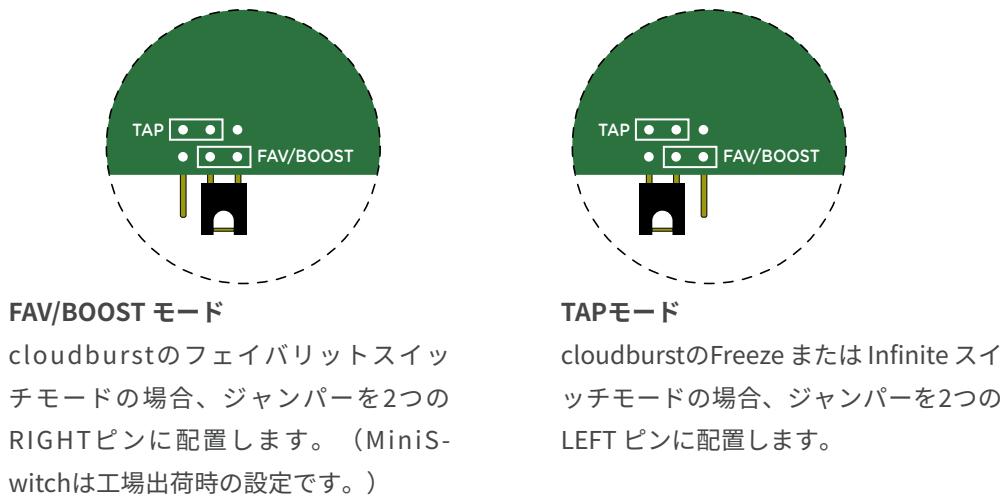
フリーズまたはインフィニティ・モード スイッチの設定

MiniSwitchまたはその他の外部ノンラッチ（モーメンタリー）タイプスイッチをTRSケーブルで接続して、本機のフリーズモードまたはインフィニティ・モードを切り替えます。

strymon MiniSwitchのインターナルジャンパーをファクトリーデフォルトの**FAV/BOOST** モードから**TAP**モードにすると（下図参照）、FreezeまたはInfiniteのモーメンタリースイッチ機能として動作します。次のステップに従って、MiniSwitchのジャンパーとcloudburstの**EXP/MIDI**ジャックの設定を行います。

- ① MiniSwitchボトムシャーシにある4つのネジを緩めます。
- ② ボトムを開いたら、回路基板の下にある小さなジャンパーを見つけ、中央と右のピン（**FAV/BOOST モード**）から中央と左のピン（**TAP モード**）に切り替えます。

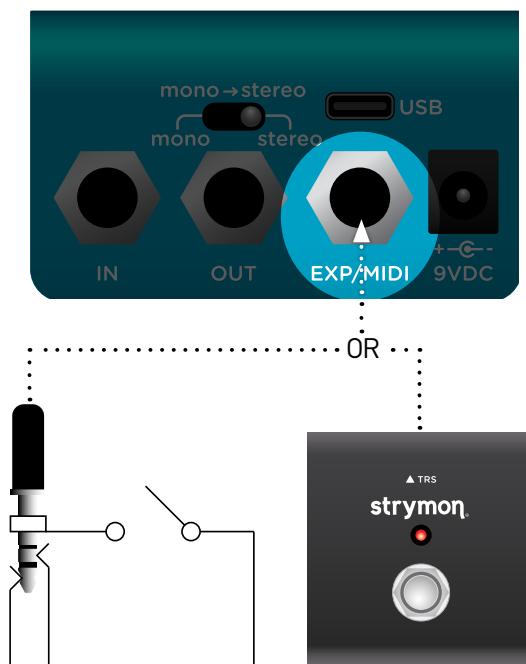
MiniSwitch 回路基板のジャンパースイッチの拡大図



- ③ ジャンパー設定が完了したら、MiniSwitchのボトムシャーシを元に戻します。
- ④ Cloudburstの**EXP/MIDI**ジャックを必要に応じてフリーズ モードまたはインフィニティ・モードに設定します（詳細については、[11 ページ](#)を参照してください）。
- ⑤ MiniSwitch（または、オプションでTRSケーブル付きのモーメンタリースイッチ）を**EXP/MIDI**ジャックに接続します。

外部コントロール

フリーズまたはインフィニティ・モード スイッチの設定（続き）



- ⑥ **フリーズ・モードの場合：**ノートまたはコードを演奏し、フットスイッチを押したままにして、その信号をキャプチャーし無期限にホールドできます。外部フットスイッチを押したまま新しいノート/コードを演奏すると、リバーブに追加されることなく「フリーズした」信号の上にそれらがそのまま再生されます。外部フットスイッチを離すとフリーズモードが解除されます。

インフィニティ・モードの場合：フットスイッチを押したままにすると、すべての入力信号にリバーブが無期限に適用されます。外部フットスイッチを離すとインフィニティ・モードが解除されます。

外部コントロール

MultiSwitch Plus の設定

本機とMultiSwitch Plusのコンビネーションで、3つの追加プリセットにアクセスできます。

- ① フットスイッチを2秒以上押し続けながら本機の電源を入れます。LEDが点滅したらフットスイッチを離します。
- ② DECAYノブを反時計回りに回しきって、MIDIチャンネル1を選びます。
すると、LEDはグリーンに点灯します。
- ③ PRE-DELAYノブを回して、次のMIDI OUTオプションを選択します。
 - MIDI CC とその他のデータを送信：グリーン
 - その他のデータを送信：アンバー
- ④ MIXノブを時計回りに回しきって、EXP/MIDIジャックをMIDIモードに設定します。LEDはブルーに点灯します。
- ⑤ 本機のフットスイッチを押して、MIDIチャンネルとMIDI OUTPUT設定を保存し、EXP/MIDIジャックモードを終了します。
- ⑥ TRSケーブルを本機のEXP/MIDIジャックに接続します。



- ⑥ MultiSwitch PlusのAフットスイッチを長押ししながら、TRSケーブルのもう一方の端子を3つのジャックのいずれかに接続して、プリセットモードをセットします。



外部コントロール

MultiSwitch Plus の使用

MultiSwitch Plusを使用したプリセットの選択と保存方法を紹介します。



NOTE : MultiSwitch Plusのフットスイッチ A、B、および C は、MIDI プログラムチェンジ1、2、および3に対応します。

① 点灯していないスイッチを踏むと、対応するプリセットが呼び出されます。

② 点灯しているスイッチを踏むと本機はバイパスされます。

MultiSwitch Plusでプリセットを保存する

① プリセットとして保存したいサウンドをダイヤルインします。

② LED がグリーンに点滅するまで、本機のフットスイッチを2秒以上長押しします。

③ MultiSwitch PlusのA、B、またはCフットスイッチを押して、現在のペダルの設定を目的のスイッチへ保存します。

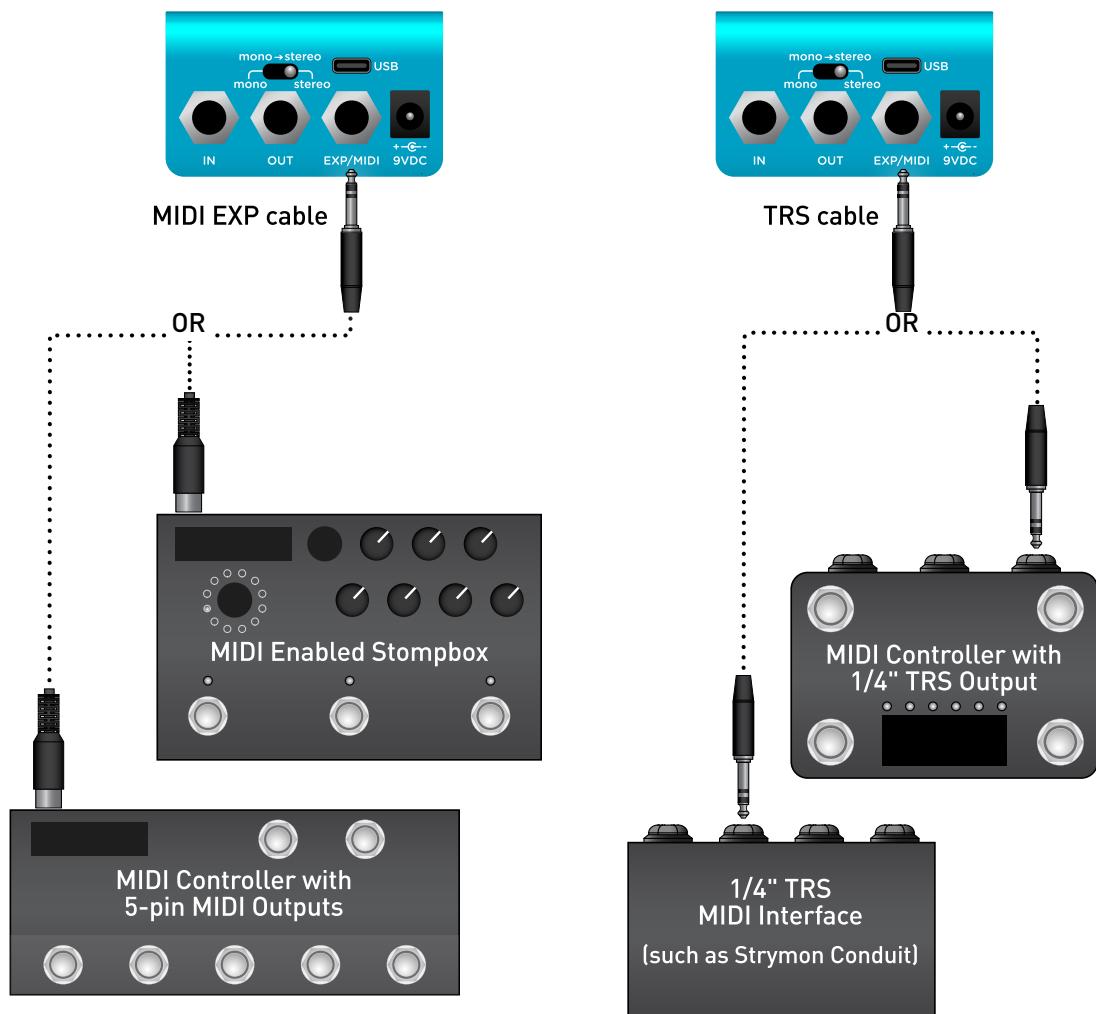
MIDI 機能

MIDI を使用するための cloudburst の設定

MIDIを使用すると、EXP/MIDIジャックに接続されたMIDIコントローラーまたはインターフェースを接続＆使用して、本機の300プリセットロケーションのいずれかをロードする一連のツールのロックが解除できます。これには、Strymon MIDI EXPケーブルまたはStrymon Conduitなどの少なくとも1/4インチ出力を備えたMIDIコントローラー/インターフェースが必要です。

NOTE : Strymon MIDI EXP ケーブルを使用する場合は、MIDI OUTモードをオフに設定する必要があります。 (詳細は[23ページ](#)をご覧ください。)

互換性のあるデバイスのリストについては、strymon.net/support/cloudburst をご覧ください。



MIDI 機能

MIDI を使用するための cloudburst の設定（続き）

ステップ1 – EXP/MIDIジャックをMIDIモードに設定する

- 1 フットスイッチを2秒以上押し続けながら本機の電源を入れます。LEDが点滅したらフットスイッチを離します。



- 2 MIX (EXP/MIDI JACK) ノブをLEDがブルー（最大位置）になるまで時計回りに回して、MIDIモードを選択します。

NOTE : MIDIデータは、EXP/MIDIジャックのTRS接続のTIP（チップ）で受信されます。

MIDI 機能

MIDI を使用するための cloudburst の設定（続き）

ステップ2 – MIDIチャンネルの設定



- ③ DECAY (**MIDI CHANNEL**) ノブを回して、MIDI通信チャンネルを設定します。 LEDはステータスを表示します。ノブの設定位置は次のとおりです。

- ・ チャンネル 1 : グリーン (デフォルト、最小位置)
- ・ チャンネル 2 : アンバー (10時の位置)
- ・ チャンネル 3 : レッド (12時の位置)
- ・ チャンネル 4-16 : ブルー (最大位置) - 次に受信したMIDI プログラムチェンジメッセージで設定します。1/4" MIDI接続が必要です。

LEDがブルーに変わると、ペダルが MIDIプログラムチェンジメッセージを受信するまで点滅します。メッセージが受信されると、ペダルはメッセージを伝送したMIDI チャンネルに設定され、Power Upモードを終了して本機の使用が開始できるようになります。

(MIDIチャンネル4~16を正常に設定完了した場合は、次のページの項目④をスキップできます。)

MIDI 機能

MIDI を使用するための cloudburst の設定（続き）

ステップ2 – MIDIチャンネルの設定（続き）



- 4 フットスイッチを押して終了し、MIDIチャンネル設定を保存して本機の使用を開始します。

NOTE : MIDIコミュニケーションの状態をチェックするには、フットスイッチがバイパスの時にCC#102で127のバリュेを本機へ送ります。MIDI接続と設定が正しければ、フットスイッチがオンになります（LEDが**レッド**に点灯します）。

NOTE : Strymon MIDI EXPケーブルを使用して本機へデータを送信するだけの場合は、必ずMIDI OUTモードを**オフ**にしてください。（MIDI OUTモードの設定については、[24ページ](#)をご欄ください。）

NOTE : MIDI チャンネルの割り当ては、フェイバリット設定またはMIDIプリセット毎には保存されません。

MIDI 機能

MIDI を使用するための cloudburst の設定（続き）

ステップ 3 – MIDI OUTモードの設定

- ① フットスイッチを2秒以上押し続けながら本機の電源を入れます。LEDが点滅したらフットスイッチを離します。



- ② PRE-DELAY (MIDI OUT) ノブを回して、本機から他のMIDIデバイスに送信するMIDIデータの種類を選択します。LEDが一瞬点滅して選択を表示します。

- OFF : レッド (デフォルト、最小位置) - 本機からMIDIメッセージは送信されません。
- THRU : ブルー (11時の位置) - 入力MIDIメッセージは、本機によって生成される追加のMIDIメッセージなしでMIDI Outから送信（出力）されます。
- SEND CC, OTHER : グリーン (1時の位置) - 本機によって生成されたMIDI CCおよびSysexメッセージがMIDI Outから送信（出力）されます。
- SEND OTHER : アンバー (最大位置) - 本機によって生成されたSysexメッセージがMIDI Outから送信（出力）されます。

- ③ フットスイッチを押してMIDI Outモードを保存し、終了します。

NOTE : MIDIデータは、EXP/MIDIジャックのTRS接続のRINGから送信されます。

MIDI 機能

MIDI モードでプリセットを保存する

MIDIモードでは、現在ロードされている設定を本機の300のプリセットロケーションのいずれかにいつでも保存できます。

- ① 保存モードに入るには、LEDがグリーンに点滅して本機がMIDIプログラムチェンジメッセージの受信を待っていることを示すまで、フットスイッチを少なくとも2秒間長押しします。



- ② ペダルの現在の状態を現在ロードされているプリセット位置に保存するには、LEDがブルーに点灯するまでフットスイッチを少なくとも2秒間押し続けます。



ペダルの現在の状態を任意のプリセット位置に保存するには、本機の現在選択されているMIDI チャンネルでMIDIプログラムチェンジをユニットに送信します。

例えば：

- MIDI Program Change #10を送信して、プリセットをペダルの対応するメモリー位置に保存します。
- このプリセットを呼び出すには、MIDIコントローラーまたはシーケンサーから MIDI ProgramChange#10を送信します。

MIDI スペシフィケーション

MIDI プログラムチェンジ

本機には、0～299まで順番に番号が付けられた300のプリセットロケーションがあります。MIDIプログラムチェンジメッセージは、最大数128（0-127）であるため、プリセットは3つにグループ化されます。

MIDI パッチバンク

MIDI BANK 0 = プリセット 0-127

MIDI BANK 1 = プリセット 128-255

MIDI BANK 2 = プリセット 256-299

MIDIプログラムチェンジ0 FAVセッティング（詳しくは[14ページ](#)をご覧ください。）

MIDIプログラムチェンジ1 MultiSwitch Plus フットスイッチ 1

MIDIプログラムチェンジ2 MultiSwitch Plus フットスイッチ 2

MIDIプログラムチェンジ3 MultiSwitch Plus フットスイッチ 3

MIDIプログラムチェンジ127 マニュアルモード

NOTE : 一部のMIDIアプリケーションやコントローラーは、MIDIプログラムチェンジを「1」からスタートします。このような場合は、MIDIプログラムロケーションを1つ上げてください。

本機は常にMIDIパッチバンク0で起動するため、最初の127のプリセット内にとどまる場合は、標準のMIDIプログラムチェンジメッセージを送信してプリセットをロードするだけです。

MIDIバンク1および/または2を使用する場合は、各MIDIプログラムチェンジの前に、標準のMIDIバンクチェンジメッセージ（MIDIバンク#と等しい値を持つMIDI CC# 0）の送信が必要です。

MIDIバンク0、1、または2で Program Change127を選択すると、本機はマニュアルモードになります。このモードでは、本機は現在のノブとスイッチ設定に戻ります。このプリセット位置にプリセットデータを保存することはできません。

MIDI スペシフィケーション (続き)

MIDI CCs

CC#	PARAMETER	RANGE	ENUMERATION
0	Bank Select	0-2	(0=Bank 1, 1=Bank 2, 3=Bank 3)
11	Ensemble	1-3	(1=off, 2=mp, 3=forte)
12	Decay	0-127	
13	Pre-Delay	0-127	
14	Tone	0-127	
15	Mod	0-127	
16	Mix	0-127	
27	Footswitch	0, 127	(0=release, 1-127=press)
60	MIDI Expression Off/On	0, 127	(0=off, 1-127=on)
97	Freeze	0, 127	(0=release, 1-127=hold)
98	Infinite	0, 127	(0=release, 1-127=hold)
100	Expression Pedal	0-127	(0=heel, 127=toe)
102	Bypass/Engage	0, 127	(0=bypass, 1-127=engage)

NOTE :すべてのオン/オフパラメーターは、0=オフおよびその他の値（1-127）=オンで実行されます。多くのMIDIコントローラーがオン/オフスイッチ用に0と127を送信するため、これらは「0」と「127」として記載されます。

NOTE :一部のMIDIアプリケーションおよびコントローラーは、MIDI列挙を0ではなく1から始めます。これらの設定では、表の数値を1ずつ増やします。

ファクトリーリセット（工場出荷時の設定へリセットする）

ファクトリーリセットを実行すると、ペダルが工場出荷時のデフォルトのパワーアップ機能に復元され、保存されているすべてのプリセットは工場出荷時のデフォルト設定に置き換えられます。

- 1 フットスイッチを2秒以上押し続けながら本機の電源を入れます。LEDが点滅したらフットスイッチを離します。



- 2 フットスイッチを再度押したままで、PRE-DELAY (FACTORY RESET) ノブを最小～最大まで2度回します。LEDは、ノブ範囲の端で色が変わり、レッドに点滅して、リセットが行われていることを表示します。

- TURN1、最小～最大まで：アンバー
- TURN2、最大～最小へ：レッド
- TURN3、最小～最大まで：アンバー
- TURN4、最大～最小：レッドにLEDが点滅し、本機はリセットされ、再起動します。

ファクトリーリセット（続き）

FACTORY DEFAULT SETTINGS	
Bypass Mode:	True Bypass
Spillover Mode:	Off
Dry Signal:	Digital
EXP/MIDI Jack:	Assigned to Expression Mode and configured to control the MIX knob
MIDI Channel:	1
MIDI OUT Mode:	Off
MIDI Expression:	On

主な特徴

- コンピューター的に非常に複雑な演算を採用したリバーブ
- トーン、プリディレイコントロールが柔軟なリバーブトーンシェーピングを可能にします。
- 中程度～強烈に変調されたリバーブサウンドの調整が可能です。
- ゼロレイテンシーのドライ信号用に、デジタル変換されないアナログドライパスのオプションが選択できます。
- アンサンブル エフェクト：オーケストラにインスピアされた豊かな倍音が増強できる
- ドライキルモード：ドライ信号をミュートし、ウェット信号のみを制御できるオプション
- ステレオ入出力（各ジャックに「TRS - デュアルTS」アダプターケーブルが必要です。）
- トゥルーバイパス（リレースイッチング）
- TRSエクスプレッションペダル、Strymon MiniSwitch、MultiSwitch Plus、TRS MIDIが接続可能なエクスプレッション入力
- 繙続的にサウンドを保持するフリーズとインフィニティの2つの独立モード
- ハイインピーダンス超低ノイズClass-A JFETプリアンプ入力
- MIDI CCs、MIDIクロック同期、300プリセットロケーションのフルMIDI機能をサポートします。
- ファームウェアの更新と[Strymon Nixie](#) エディターソフトウェアへの接続が可能なUSB-C ジャックを搭載。
- +10dBu最大入力レベルが楽器からラインレベルの広い信号への対応を可能にしました。
- 高性能520MHz ARM スーパースカラープロセッサーを採用。
- 32 ビット浮動小数点演算
- 超低ノイズ、高性能 A/D および D/A コンバーター
- 堅牢軽量なアルミシャーシ
- Designed and built in the USA

スペシフィケーション

入力インピーダンス	1 Meg Ohm
出力インピーダンス	100 Ohm
A/D & D/A	24-bit 96kHz
最大入力レベル	+10 dBu
S/N	116 dB typical
バイパススイッチング	トゥルーバイパス(リレースイッチング)
サイズ	(D) 11.4 cm x (W) 4.3 cm x (H) 5.6 cm

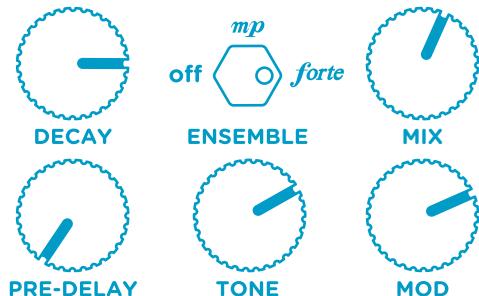
電源アダプター規格

9VDCセンターマイナス、250mA以上のアダプターを使用してください。9Vより高い電圧の電源に接続しないでください。アダプターは付属されていませんので、別途ご購入ください。

Appendix 1 : サンプルセッティング

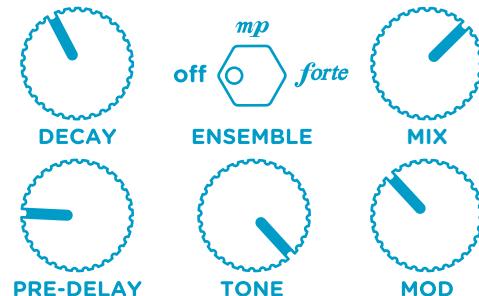
サンプルセッティング

Airstream



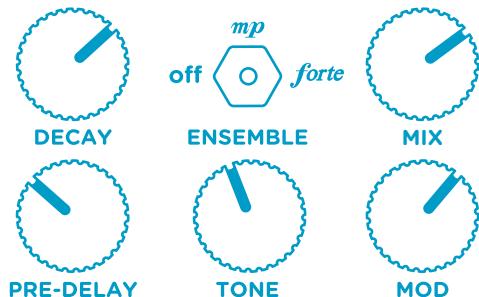
MIDI Program Change 0
MiniSwitch Favorite

Beautifier



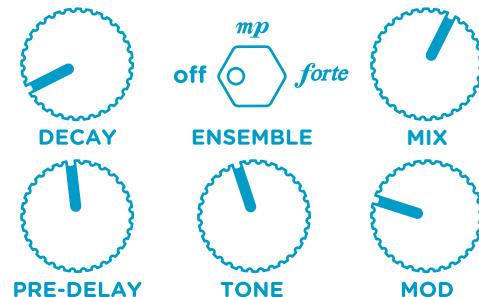
MIDI Program Change 1
MultiSwitch Plus A

Pad Thai



MIDI Program Change 2
MultiSwitch Plus B

Thick Slap



MIDI Program Change 3
MultiSwitch Plus C

Appendix 2 : パワーアップモード クイックリファレンス

パワーアップモード - クイックリファレンス

グローバルパラメーターとその機能には、電源投入手順によってアクセスできます。すべてのパワーアップ機能は、電源を入れ直しても維持されます。

- ① フットスイッチを2秒以上押し続けながら本機の電源を入れます。
LEDが点滅したらフットスイッチを離します。
- ② 以下のコントロールで必要な機能を調整します。
- ③ フットスイッチを押して変更を保存し、パワーアップモードを終了します。

POWER UP MODE	OPTIONS
バイパスモード モノI/O 図を用いた説明は 8 <u>ページ</u> をご覧ください	ENSEMBLE スイッチをセットして行います。ステータスは LED で表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> • トゥルーバイパス：スイッチ off (左) ポジション LED グリーン (デフォルト設定) • バッファードバイパス：スイッチ forte (右) ポジション LED レッド
スピルオーバーモード 図を用いた説明は 9 <u>ページ</u> をご覧ください	MOD ノブを回して設定したいモードを選びます。ステータスは LED で表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> • オフ：アンバー (デフォルト設定、最小位置) • オン：パープル (最大位置)
ドライ信号 図を用いた説明は 10 <u>ページ</u> をご覧ください	TONE ノブを回して設定したいモードを選びます。ステータスは LED で表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> • デジタル：グリーン (デフォルト設定、最小位置) • アナログ：レッド (12時の位置) • キルドライ：ブルー (最大位置)
EXP/MIDI ジャックモード 図を用いた説明は 11 <u>ページ</u> をご覧ください	MIX ノブを回して設定したいモードを選びます。ステータスは LED で表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> • Expression/ エクスプレッション：グリーン (デフォルト設定、最小位置) • Favorite/ フェイバリット：アンバー (11時の位置) • Freeze/ フリーズ：レッド (12時の位置) • Infinite/ インフィニティ：パープル (2時の位置) • MIDI：ブルー (最大位置)

パワーアップモード - クイックリファレンス（続き）

POWER UP MODE	OPTIONS
MIDI チャンネル 図を用いた説明は 22 ページ をご覧ください	DECAY ノブを回して設定したいモードを選びます。ステータスは LED で表示されます。 <ul style="list-style-type: none">• 1 : グリーン (デフォルト設定、最小位置)• 2 : アンバー (10 時の位置)• 3 : レッド (12 時の位置)• 4 - 16 : ブルー (最大位置、MIDI メッセージでチャンネルが MIDI チャンネルセレクトされます。)
MIDI OUT モード 図を用いた説明は 24 ページ をご覧ください	PRE-DELAY ノブを回して設定したいモードを選びます。ステータスが LED で点滅表示されます。 <ul style="list-style-type: none">• OFF : レッド (デフォルト設定、最小位置)• THRU : ブルー (11 時の位置)• ON CC, OTHER : グリーン (1 時の位置)• ON OTHER : アンバー (最大位置)
ファクトリーリセット 図を用いた説明は 28 ページ をご覧ください	フットスイッチを押したまま、 PRE-DELAY ノブを 0% から 100% まで 2 回回します。LED にステータスが表示されます。

NOTE : [13ページ](#) の「Expression Pedal Setup/エクスプレッションペダルのセットアップ」を参照して、プリセットごとにペダル機能を設定します。

使用上のご注意

▲ 警告：安全のため、特に注意していただきたいこと

1. 異常があるときは電源プラグをコンセントから抜いて、ご購入先もしくは、弊社迄ご連絡下さい。異常な音がしたり、煙が出て異臭がした時などは、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。
2. 電気ショックを避けるため、本体を絶対に開けないで下さい。本機は、高電圧が発生しているため危険です。内部に触ると感電する恐れがあります。内部の調整や修理は、弊社にご依頼下さい。また、火事や感電を避けるために、湿度が非常に高い場所に置いたり、雨天の際に野外で使用することは避けて下さい。

▲ 警告：次のような場所での使用は出来る限り避けて下さい。

- 湿度の非常に高い場所
- 砂やほこりが多い場所
- 台所、バスルーム、湿気の多い地下室など、水のかかりやすい場所
- 空気の循環を妨げる場所、ヒーターの近くなど、温度が高い場所

Strymon 限定保証（譲渡不可）に関する規定

保証について

Strymon は、正規 Strymon ディーラーから購入された場合、その製品と製品中のコンポーネントが、購入日から次の期間、材質および製造上の欠陥がないことを保証します。

製品保証が 1 年間となる製品

第一世代のペダル・・・blueSky、El Capistan、Flint、Lex、Deco、DIG
Brigadier、OB.1、Ola、Orbit、TimeLine、Mobius、BigSky

製品保証が 2 年間となる製品

上記以外のエフェクトペダル、ユーロラックモジュール、パワーサプライ製品、MIDI インターフェイス
※ 付属品のパワーサプライ、および、MIDI ケーブルアクセサリーについては、初期不良の場合のみ製品保証を適応させていただきます。

保証期間内に製品が故障した場合、Strymon 日本総代理店株式会社HotoneJapanが、最初の購入者に限り無償で修理、または当社の裁量により製品を交換いたします。また、本保証を最初の購入者以外へ譲渡することは出来ません。

免責事項

この保証は、ユーザーマニュアルに記載されている推奨の使用方法に従って、Strymon 製品を使用中に発見された製造上の欠陥を対象とします。この保証は紛失や盗難には適用されません。また、誤用、不正な改造、不適切な保管、落雷、または自然災害によって引き起こされた損害にも適用されません。上記の状況によって生じた損傷は、保証対象外の修理料金が発生する場合があります。

非正規販売店や海外から購入された製品は、この保証の対象外となります。保証は譲渡不可であり、中古品または譲渡された製品には適用されません。

保証範囲

故障の場合は、前項の通り、修理または交換の対応のみとなります。オールアクセスインターナショナル株式会社は、本製品の故障に起因するいかなる損害に対しても一切の責任を負いかねます。保証外の損害には、逸失利益、逸失貯蓄、他の機器への損害、および本製品の使用または使用不能から生じる付随的または派生的損害等が含まれますが、この限りではありません。いかなる場合においても、当社は、製品の市場想定価格を超えない範囲で保証対応し、それを超える保証に関する責任を負いません。